



一般会計・特別会計等 決算を認定

表紙の写真
市民総合
体育大会より

平成30年度 決算審査の概要
この事業はどうだった? 2~6
決算特別委員会報告・賛成反対討論 7
「議会報告会・議会と語る会」のお知らせ/
市民病院リハビリ機能病床
拡充を求める陳情..... 8

議会と語る会の報告..... 9
提出案件の審議結果/
条例審査・一般会計補正予算 10~11
市政を問う(11人の議員が質問) 12~17
若者フォーカス
「東御市消防団音楽隊」のみなさん 18

特設プール寄附金不足 起債の是非が問題に



10月20日竣工 特設プール

一般会計決算

湯の丸特設プール

賛成10
反対4
認定

寄附金が不足し
1億6380万円の起債

約13億円にのぼる建設工事が本格化した初年度当初予算は6億5050万円でしたが、工期が遅れ4億1002万円の事業規模に。全額寄附金でま

方針を変更し、10年間運営

湯の丸特設プールの事業費と財源

		平成30年度	
		当初予算	決算
当年事業費		6億5,050万円	4億1,002万円
寄附金計		6億4,050万円	2億3,234万円
財源	企業版	5億1,670万円	1億4,470万円
	個人版	1億0,380万円	5,788万円
	一般寄附	2,000万円	2,976万円
	基金・交付税等	1,000万円	2,495万円
	借金(起債)	—	1億6,380万円
	湯の丸基金繰出	—	1,107万円

「寄附金を集めきれず、この是非をめぐって大きな議論となりました。」
「起債したことは問題だが、市にとって有用な施設だ」と容認する意見が交わされました。

特別委員会でも可否同数

決算特別委員会では賛成3、反対3、棄権1の可否同数となり委員長採決により原案どおり認定されました。これが本会議に報告され賛成10、反対4で認定されました。採決に当たり、起債にいたったことは「市民に不安を抱かせた」とし、今年度は「当初の公約どおり寄附金を集めきり、市民への説明責任を果たし、信頼回復に努められた」との付帯意見をつけました。
(討論の内容は7ページ)

令和元年9月定例会が9月3日から30日まで28日間の日程で開かれました。9月議会は「決算議会」と言われ、平成30年度の市の仕事ぶりを決算にもとづいてしっかりと審査しました。
一般会計を中心にその内容をご報告します。
(審査の流れは3ページ参照)

400メートルトラック完成

湯の丸に新たな可能性



全天候型400メートルトラック

市民利用もすすむ 湯の丸高原 陸上運動施設

湯の丸高原に新たに設置された400メートルトラック、トレイルランロード、トレーニングコースなど陸上施設の利用が進み、有名選手も多く訪れています。
市民参加の利用では、ランニングカーニバルなど

に300人程の参加があり、ウォーキング教室も13回開催されました。今後も特設プールでのトップアスリートの練習見学など市民がスポーツに親しむ機会を増やして欲しいとの要望が出されました。

文化会館の改修問題

文化会館の老朽化で、改

平成30年度 湯の丸高原スポーツ施設利用実績

- 湯の丸高原全体.....5,165泊
- 全天候型400メートルトラック日帰り利用者.....1,239人
- ウォーキング教室.....13回のべ191人
- 第1回ランニングカーニバル.....108人
- 第1回湯の丸高原小学生駅伝大会.....14チーム57人

海野宿宿泊施設「うんのわ」

海野宿の宿泊施設「うんのわ」の指定管理者が2月にかかりました。9月末現在も料理人が確保できず宿泊・食事提供を中断しています。今後について指定管理者と相談中とのことです。地元区民も巻きこんで海野宿の観光に寄与する施設にするべきだと求めました。

市民病院 企業会計

全会一致で
認定

入院、外来とも患者数が増え、病床稼働率は76%を上回り、医業収入も増えました。これにより経営健全化に向けた一般会計からの繰り出しは4000万円縮減されました。

国保特別会計、 介護保険特別会計

全会一致で
認定

両会計とも制度が大きく変わりましたが、国保税、介護保険料ともに据え置きでした。決算では国保は1億500万円、介護保険は6千200万円の黒字でした。

各会計の決算は...

	歳入	歳出	差引	
一般会計	155億1,255万円	150億3,366万円	4億7,888万円	
特別会計	国民健康保険	31億8,854万円	30億8,395万円	1億0,458万円
	介護保険	27億5,960万円	26億9,724万円	6,235万円
	住宅改修資金	75万円	616万円	△540万円
	工業地域開発	1億5,030万円	1億5,030万円	0円
	後期高齢者医療	3億3,566万円	3億2,318万円	1,247万円
公営企業会計	水道	7億4,466万円	6億0,497万円	
	下水道	14億1,486万円	12億7,423万円	
	市民病院	19億1,611万円	18億6,731万円	

この事業は
どうだったか?

湯の丸・文化・観光

決算審査の流れ

本会議採決

決算特別委員会の報告を受け、討論採決。付帯意見

決算特別委員会

2日間

2委員会の審査報告をもとに総括的に審査

予備審査

5日間

総務産業、社会文教の2委員会で担当分野を審査

総括質疑

1日間

本会議で全議員が全体について質疑

この事業は
どうだったか？

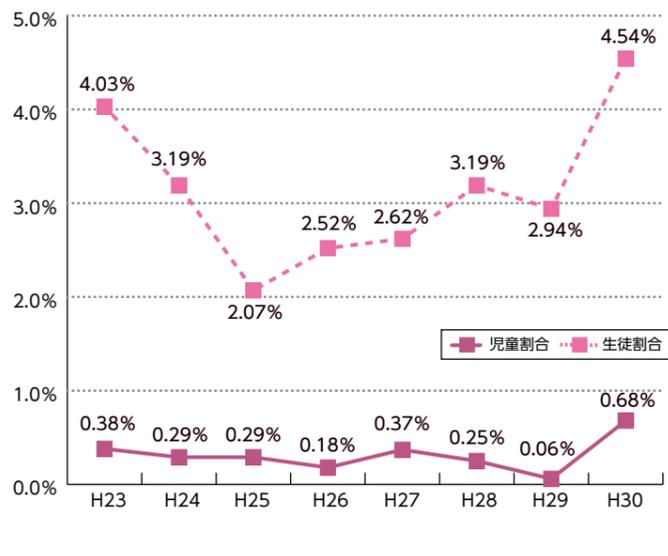
子育て・学校教育・ 社会教育



増える不登校

支援強化が求められる

不登校児童生徒在籍比率の推移



不登校問題
不登校率は全児童生徒数に対し、小学校0.68%中学校4.54%となっており、家庭の問題が主な要因となっています。対策としてボランティア団体「東御市青少年支援

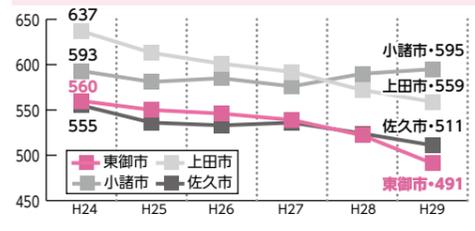
チーム」による外出支援・学習支援が行われていると報告がありました。対策のいつその強化を求める付帯意見をつけました。※不登校のカウントには、平成29年度から「起立性調節障害」のような症状についても、不登校に含めるよ



頑張れ！東御っ子

生涯学習
生涯学習の審査では、中央公民館・各地区公民館での各種講座にのべ1878人、各市民大学656人の参加があるなど多くの市民が取り組んでいると報告がありました。活動で培った力を地域で生かして欲しいとの意見が出されました。

1日1人当たり排出量(生活系)推移



生ごみ
生ごみリサイクルの結果可燃ごみの量が大幅に減少し、県下19市で最も少ないと報告がありました。

木質バイオマス発電
羽毛山地籍で進行中の民間事業ですが、市民の不安を払拭するための適切な情報提供を求めました。

羽毛山工業団地に建設中の木質バイオマス発電所

傷んだ市道の改修

各区の要望を受け拡充を！

この事業は
どうだったか？

くらし・防災

小規模土木

枠配分方式の厳しい予算のなか、各区が要望する小規模土木は希望どおりにならない場合が多く、議会より小規模土木の予算確保を以前から求めていました。平成30年度は昨年度を約500万円上回る約5千800万円事業執行となりました。

消防団再編の協議完了

消防団員のなり手不足を解消し、出来るだけ活動の負担軽減を図るため、消防部の合併と、消防部のない区からも団員を出してもら



出初式で行進する乙女平自衛消防隊

うとする消防団の再編協議が完了し、41部あった消防部が23部となりました。

再編に伴い、自衛消防隊は令和元年12月末をもって解散で調整中とのことでした。地域の防災力を落とすことなく、管轄する消防部に上手く引き継ぎを行い、市民の要望に応じて欲しいと要望しました。

支えあい台帳

福祉課の所管で、各区が区内の住民情報を集約し、災害時などの共助体制を記した台帳です。67区中44区で作成されており、更新と作成の推進や、部局横断での活用推進を求めました。



太陽光発電

3月に作成された太陽光発電のガイドライン(区配布)によって、パネル設置に関するトラブルが見られなくなりました。また、蓄電池助成を視野に要綱改正に取り組んでいくとの報告がありました。

市内最大1メガワットの奈原太陽光発電施設



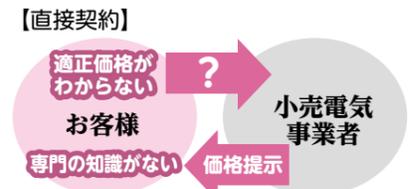
行政の使用電力を削減

行政が使用する高圧電力を「新電力」に切り替える、「新電力プロバイダー契約」の導入により、約2100万

円の電気料が削減できました。引き続きの取り組みを求めました。また、他の行政経費の見直しも求めました。

新電力プロバイダー契約とは

経済性や継続性を考慮し小売電気事業者を選ぶ「エネルギーサービスプロバイダー(ESP)」と契約しコストダウンを図る。



【プロバイダー契約】



生ごみ

人権よろず相談

人権同和政策課所管の相談窓口で人権同和のくりに理解されがちですが、全市民の人権問題の相談窓口です。市民がより利用しやすい制度とするために、窓口の名称を「よろず相談」に変更してはどうかという意見がありました。

賛成多数で 認定

決算特別委員会 審査報告



決算特別委員会委員長
柳澤 旨賢議員

平成30年度東御市一般会計歳入歳出決算認定について、各委員会の予備審査結果に基づき、決算特別委員会で審査が行われました。(予備審査内容:P2~6参照)

湯の丸高原施設整備推進事業の進め方、効果などが議論となり、挙手による採決を行った結果、賛成3人、反対3人、棄権1人と賛成・反対が同数となったことから、委員長採決により原案のとおり認定すべきものと決定されました。原案を認定するにあたり、下記の意見を付しました。

付帯意見

- 湯の丸高原施設整備推進事業について、広く市民にも活用でき、健康増進にも資する事業を積極的に推進されたい。また、特設プール建設に当たって全て寄附金でまかなうとしてきたが、平成30年度に1億6380万円の欠損金が生じ、地域活性化事業債で対応せざるを得ず、市民に不安を抱かせた。令和元年度においては、当初の公約どおり寄附金を集めきり、市民への説明責任を果たし、信頼回復に努められたい。
- これまで市では子育て支援など人口減少対策について先進的な取り組みを行ってきた。しかし、現在では県や周辺自治体の取り組みと比較して見劣りするものとなっている。これまでの成果について再検証すると

- 湯の丸高原施設整備推進事業について、広く市民にも活用でき、健康増進にも資する事業を積極的に推進されたい。また、特設プール建設に当たって全て寄附金でまかなうとしてきたが、平成30年度に1億6380万円の欠損金が生じ、地域活性化事業債で対応せざるを得ず、市民に不安を抱かせた。令和元年度においては、当初の公約どおり寄附金を集めきり、市民への説明責任を果たし、信頼回復に努められたい。
- 空き家や農地対策、道路の社会基盤整備等、公共施設の長寿命化など、要望・課題は依然としてある。厳しい財政運営のなかで、社会情勢、市民ニーズを捉え、市の発展を目指すために人材の育成と確保、部局を超えた連携に取り組まれたい。
- 昨年度の不登校率は小学校で0.68%、中学校では4.54%となっており、不登校や引きこもりが深刻な問題となっている。すでに東御市青少年支援チームなどの取り組みが始まっているが、子ども達の将来のために必要であれば支援体制の整備も含めたさらなる対策に取り組まれたい。

賛成 反対 討論

反対討論



平林 千秋議員

プールの原資とした寄附金が足りず、巨額の欠損をおこしたことで、東御市始まって以来の失態であり、「集めきる」として事業を推進してきた市長責任は重大だ。

財政規律に反し、不確実な寄附金を全額あてこんだ事業計画自体が問われなければならない。こうした不正常態を内部からただす動きも見えない。モラルハザードを指摘せざるを得ない。たとえ市にとってよきそんな事業でも予算の裏付けがなければ事業として成り立たないのは自明のこと。いまそれをチェックする議会の役割が問われている。

賛成討論



田中 信寿議員

歳出決算は、4億7888万6千円の赤字となり、財政健全化比率も早期健全化基準をクリアしている。また市債は、昨年より20歳出決算は、4億7888万6千円の赤字となり、財政健全化比率も早期健全化基準をクリアしている。また市債は、昨年より20

8%の減となり軽減が図られた。成果を上げた事業もあり認定すべき決算である。一方で湯の丸高原施設整備推進事業の起債は、やむを得ないものではあったものの多くの市民に不安を与えた。市長には、公約通りの事業推進と説明責任を果たし、市民理解を得て進められるよう強く求める。

反対討論



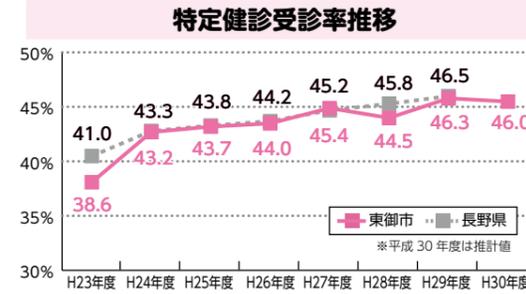
若林 幹雄議員

トレーニング事業にかかわる1億6380万円の起債にある。寄附金が集まらなかったため前例のない多額の欠損金を発生させたこと、それが東御市と

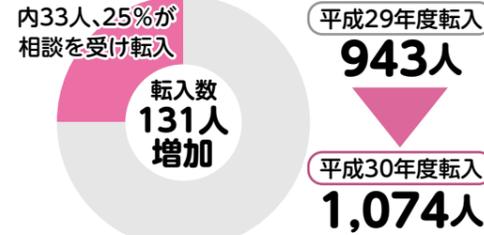
しての財政運用のあり方として妥当なものであったかどうか問われている。これは寄附金で賄い市民に迷惑をかけないという市長の公約違反だ。起債することでプールを10年間維持せざるを得ず、起債償還金や経費でさらに多額の負担が生ずる。こうした決算をこのまま認めることは、議会としてのチェック機能が問われる。

特定健診受診率が向上

取り組み目標 50%以上 に向けて



各種検(健)診事業
特定健診の受診率は、8年前は38%で県下で低位でしたが、平成29年度は過去最高の46.3%となりました。これを評価し、更なる取り組みを求めました。がん検診についても、市外医療機関の受診と集団検診の実施により、増加傾向にあります。

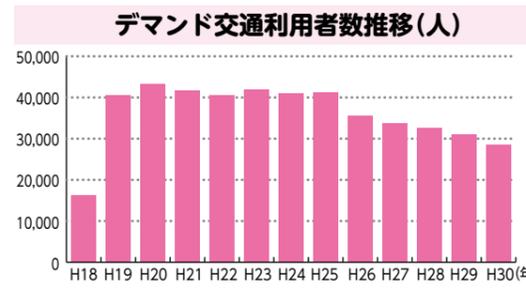


移住定住の実績
減少傾向にある市の人口減少対策として、移住定住相談を積極的に行い33人の転入者を得ました。それを含め平成28年度、29年度ともに900人台であった転入数が、平成30年度は1074人と増加。しかし転出数に対しては転入数が下回る事から、更なる対策の強化を要望しました。

デマンド交通・高齢者の交通対策
平成18年度から始まりピーク時には4万人以上の利用があった「デマンド交通」ですが、現在は2万人台と利用者が大幅減となり見直しが必要です。平成30年度は前年度に引き続き土曜日運行を実施しましたが、利用客は伸びず減少が続いています。

地域包括ケアシステムの取り組み
地域住民の皆さんと行政・医療の皆さんが一体となつてつくりだす地域包括ケアシステムは、平成30年度、生活支援コーディネーターが配置され、滋野地区をモデルとして動き始めました。今後地域との協力体制の構築強化を求めました。

増加する高齢者の事故対策や移動手段の確保として、今後デマンド交通に福祉的な要素を取り入れたり、タクシー券を配布するなど、更なる検討が必要です。現在商工部門で運行を管理していますが、福祉部門との連携が必要であるとの意見も出されました。



デマンド交通 トウミレッツ号

この事業はどうだった?

健康・地域づくり



社会文教 委員会

聴覚障がい者との語る会



今年の議会と語る会では初めて「聴覚障がい者との語る会」を8月21日に開催しました。当日は東御市聴覚障がい者協会の方が3名参加され、手話通訳者を介してお話させていただきました。

現在、聴覚障がい者協会には10数名の方が所属されているそうです。日常生活の中で言葉が通じないためご苦労されることも多く、病院など重要な場面では、社会福祉協議会から派遣される手話通訳者の方に来ていただくそうです。こうした派遣は年間おおよそ300回にも及ぶとのこと。手話の普及のために議員にも協力してほしいとの要請がありました。まず議会として手話を勉強しようということになりました。

要望

- 買い物・銀行・病院などでの対応時や火災時など、手話通訳者がいない場面で手話を理解してもらえるように、講習会を開催して欲しい。
- 夜間などの緊急時でも、手話通訳者の支援をお願いできるよう対応して欲しい。
- 広くいろいろな人に手話を勉強して欲しい。

総務産業 委員会

海野宿のこれから



去る9月8日に、「議会と語る会～海野宿のこれから～」と題し、海野宿ふれあいセンターにて36名の市民の皆さんと座談会を行いました。

最初に海野宿トラストの皆さんから、以前に行った海野宿の保存をテーマとしたワークショップの内容の説明がありました。座談会では、駐車場やトイレ、周辺の草刈りなどの整備面や、観光客のおもてなしや、旅行会社への対応など様々なご意見を伺いました。

皆さん大変に積極的で「海野宿」に対する思いが伝わってきました。

地元の皆さんが一丸となり市も支援するよう、貴重なご意見は、市へ要望事項としてお伝えします。

要望

- 駐車場への案内看板の向きを変えて誘導を分かりやすくして欲しい。
- 以前やっていた傘や車椅子の貸し出しを復活して欲しい。
- トイレの管理が不十分で数も足りない。防犯のため夜はトイレを閉めて欲しい。
- 海野宿周辺の草刈をこまめにして欲しい。
- 運転手やガイドの休憩所を設置して欲しい。観光会社へのサービスも必要。
- 海野宿駅の要望復活を。塩川方面への架橋など周辺道路の整備もまだ必要。

お出かけ下さい 議会報告会・議会と語る会のお知らせ



東御市議会は、次の日程で、議会報告会と議会と語る会を開きます。議会のこれまでの取り組みを報告し、ご意見をうかがい、今後の活動にいかしてまいります。



みなさんのご意見を
お聞かせ下さい。

議会報告会

- ◆ 11月24日(日) ▶ PM3時～5時 / 中央公民館講堂
議会報告会 湯の丸施設計画をどう審査したか

個別テーマで議会と語る会

- ◆ 11月10日(日) ▶ PM3時～5時 / 中央公民館講堂
命の水をどう守る～持続可能な水道事業
- ◆ 11月17日(日) ▶ PM3時～5時 / 総合福祉センター3F
あなたにとって市民病院とは



陳情

市民病院にリハビリ機能病床の 拡充を求める決議を採択

住民の陳情を採択

社会文教委員会は9月17日、「市民病院とともに地域医療を語る会」から提出された「市民病院に回復期リハビリ機能病床の拡充を求める陳情書」を全会一致で採択しました。

この陳情は東御市が進めている東御市民病院と鹿教湯三才山リハビリテーションセンターとの再編ネットワークにより、東御市民病院に回復期リハビリ機能病床の設置を求めるものです。

急性期を脱した患者さんがリハビリを受けるためには、現在は遠方の鹿教湯三才山病院を利用するしかなく、患者さんやご家族に大変な負担が強いられてきました。この実現により身近な市民病院でリハビリ医療が受けられます。これは東御市民のみならず上小

医療圏全体の利便性向上にもつながるものです。本陳情は最終日の9月30日、本会議で全会一致で採択。東御市議会の意思として鹿教湯三才山リハビリテーションセンターとの連携を進めることを求めた「決議」を採択しました。



社会文教委員会における陳情者の説明

条例審査 平成31年度一般会計 補正予算

保育料無償化始まる!

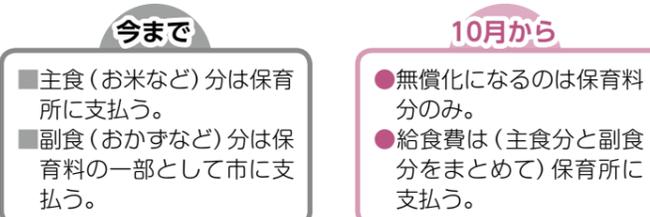
無償化でどうなる 保育料



年収360万円未満相当世帯の子どもの副食費は無償です。

また、東御市民の副食費は、上の子の年齢にかかわらず【第2子は半額、第3子は無償】となります。

3～5歳児の給食費の扱い



平成31年度 一般会計9月補正予算の主な内容

湯の丸高原施設基金積立金	954万1千円
防犯カメラ設置工事費(通学路地下道に設置)	544万5千円
柵津作業所解体事業費(解体後の駐車場整備費を含む)	1,071万4千円
産地パワーアップ事業補助金(御堂ワイン圃場トレリス)	589万8千円
御堂関連排水路整備工事費	2,200万0千円
商工業振興助成事業補助金(湯の丸アスリート食堂他)	3,388万5千円
湯の丸高原観光対策事業費(池の平湿原案内看板、ビジターセンター大型モニター)	814万0千円
子育てのための施設等利用事業費	1,717万5千円
くるみ幼稚園認定こども園施設整備事業補助金	4,079万8千円

【条例審議】

9月定例会では条例の新設・一部改正・廃止議案が10件提出され、いずれも本会議では全員賛成で可決されました。

●保育料無償化に伴う副食費の条例改正

10月1日から保育料が無償となりました。それに伴い保育料そのものは無償となりますが、今まで保育料に含まれていた副食費月額4,500円を別途徴収するとして条例改正が出されました。(左の解説図参照)。保護者に混乱がないよう丁寧な説明を要望しました。

●市の臨時雇用職員の昇給や手当を明確化

国の法改正に伴い、自治体非正規職員の法的根拠や処遇を定める「会計年度任用」に関する条例が新設されました。給与は正職員に準じ、期末手当や通勤手当なども支給され、継続的な任用では昇給もあります。総務産業委員会の審査では任用は「現在の仕事に則して対応すべき」との意見が出されました。

【一般会計補正予算】

平成31年度一般会計補正予算(第3号)では、通学路の地下道に防犯カメラを設置する予算や、幼児教育・保育の無償化に対応するため、くるみ幼稚園の認定こども園化に要する整備事業費の補助など1億7011万6千円が計上され、全会一致で可決されました。

令和元年 9月 定例会の議決結果

下記以外の議案等は、全会一致でした。

議案番号	案件	会派名・議員名																
		東翔の会				さわやかな風の会				太陽の会			日本共産党	公明党				
		横山	柳澤	青木	佐藤	田中	依田	長越	山崎	中村	阿部貴代枝	若林	高森	山浦	平林	窪田	依田	高木真由美
議案第32号	平成30年度東御市一般会計歳入歳出決算認定について	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	欠	●	●	●	欠	○

本会議での各議員の賛否(賛成・採択「○」、反対・不採択「●」、退席「退」、議長「/」、欠席「欠」)

令和元年 9月 定例会の提出案件の審議結果

採決結果:○は全会一致
○は賛成多数 ×は否決

議案番号	案件	採決結果	常任委員会審査結果	
			総務産業	社会文教
専決処分の承認(補正予算1件)				
議案第31号	平成31年度東御市一般会計補正予算(第2号)の専決処分の承認を求めることについて 予算額11,500千円(増額)。豚コレラ対策の緊急補助金及び明神館温泉ポンプの緊急修理	○	—	—
平成30年度東御市歳入歳出決算(関連記事P2~6)				
議案第32号	平成30年度東御市一般会計歳入歳出決算認定について(P11下段参照) 歳入15,512,550千円、歳出15,033,664千円、差引額478,886千円の黒字決算	○	—	—
議案第33号	平成30年度東御市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について 歳入3,188,540千円、歳出3,083,955千円、差引額104,585千円の黒字決算	○	—	○
議案第34号	平成30年度東御市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について 歳入2,759,602千円、歳出2,697,249千円、差引額62,353千円の黒字決算	○	—	○
議案第35号	平成30年度東御市地域改善地区住宅改修資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について 歳入758千円、歳出6,167千円、差引額5,409千円の不足。翌年度の繰上充入金で補填	○	—	○
議案第36号	平成30年度東御市工業地域開発事業特別会計歳入歳出決算認定について 歳入150,300千円、歳出150,300千円。大川北工業団地を売却。一般会計に23,519千円を繰出	○	○	—
議案第37号	平成30年度東御市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について 歳入335,660千円、歳出323,185千円、差引額12,475千円の黒字決算	○	—	○
議案第38号	平成30年度東御市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について 当年度純利益133,316千円の黒字決算。老朽化の石綿管布設替工事は残り約970mでR4に完了	○	○	—
議案第39号	平成30年度東御市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について 当年度純利益127,513千円の黒字決算。農業集落排水の公共下水への接続は北滋野処理区が竣工	○	○	—
議案第40号	平成30年度東御市病院事業会計決算認定について 当年度純利益48,798千円の黒字決算(病院事業全体)	○	—	○
平成31年度東御市補正予算(関連記事P11)				
議案第41号	平成31年度東御市一般会計補正予算(第3号) 予算額 170,116千円(増額)。御堂排水路、商工助成、くるみ幼稚園補助事業など	○	—	—
議案第42号	平成31年度東御市国民健康保険特別会計補正予算(第1号) 予算額 591千円(増額)	○	—	—
議案第43号	平成31年度東御市介護保険特別会計補正予算(第2号) 予算額 17,627千円(増額)	○	—	—
条例の一部改正(関連記事P11)				
議案第44号	東御市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例 会計年度任用職員(現・臨時職員)の給与及び費用弁償を定める条例。期末手当が支給されるなど、待遇改善につながる	○	○	—
議案第45号	東御市印鑑条例の一部を改正する条例 印鑑登録に旧氏の登録が可となる。また印鑑証明書にも旧氏を併記する	○	—	○
議案第46号	東御市税条例等の一部を改正する条例 NPO法人が設立後5年以内に譲り受けた自動車の環境性能割の課税が免除となる	○	—	○
議案第47号	東御市資料館条例の一部を改正する条例 東御市北御牧郷土資料館の廃止に伴う条例改正	○	—	○
議案第48号	東御市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例 支給に関する事項を調査審議する東御市災害弔慰金等支給審査委員会を設置	○	○	—
議案第49号	東御市水道条例の一部を改正する条例 現在申請時15,750円の指定業者の更新手数料を申請時1万円、5年毎の更新時1万円に改定	○	○	—
議案第50号	東御市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例 現在任用されない、成年被後見人または被保佐人を任用できるとするもの	○	○	—
議案第51号	東御市障害者支援施設条例の一部を改正する条例 東御市障害者支援施設柵津の施設廃止に伴う条例改正	○	—	○
議案第52号	東御市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 幼児教育・保育の無償化に伴う条例改正(関連記事P11掲載)	○	—	○
議案第53号	東御市記号式投票に関する条例を廃止する条例 現行の市長選挙投票日当日の記号式投票を、期日前投票と同じ自署式に統一する改正。	○	○	—
請願・陳情				
陳情第30号	日本政府に対して、国連の「沖縄県民は先住民族」勧告の撤回を求める意見書の採択を求める陳情書	議席配布	—	—
陳情第31号	米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進する意見書に関する陳情	議席配布	—	—
陳情第32号	東御市民病院に回復期リハビリ機能病床の拡充を求める陳情書	採択	—	採択
陳情第33号	高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める陳情書	一部採択	—	一部採択
議員提出議案				
議員提出議案第1号	東御市民病院に回復期リハビリ機能病床の実現に賛成する決議の提出について	○	—	—
議員提出議案第2号	高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書の提出について	○	—	—

常任委員会審査結果の「—」印は、常任委員会に付託されなかった案件です。



完成間近な湯の丸高地トレーニングプール

湯の丸高地トレーニングプールの寄附はどうか。企画振興部長 8月末現在で企業版ふるさと寄附が780万円、個人版ふるさと寄附が4710万円、一般寄附が1110万円、合計6600万円だ。

湯の丸高地トレーニング施設の名権の募集状況はどうか。企画振興部長 個人版ふるさと寄附は市長がトップセールスで頑張っており、今後に期待したい。市長 展望が甘かったと言われれば甘かったと言わざるを得ない。お詫びする。

Table with 2 columns: 事業内容 (Project Content) and 金額 (Amount). Rows include small-scale construction, agricultural facilities, citizen hall renovation, and crime prevention lighting, with a total of 1.33 billion yen.

平成30年度の「区の長期事業計画」の実施に係る事業実績

市長 持続可能な地域づくりでは、長期事業計画での要望が特に増大傾向にあり、大傾向の中で、税金減の中で、どう市民要望に応えるかが大きな課題だ。地域づくり

とうみケーブルテレビの今後について。企画振興部長 とうみケーブルテレビの公設民営化とは何か。市長 持続可能な地域づくりでは、長期事業計画での要望が特に増大傾向にあり、大傾向の中で、税金減の中で、どう市民要望に応えるかが大きな課題だ。地域づくり



若林 幹雄議員

湯の丸プールの寄附金は、いくら集まっているのか。現時点で6600万円、目標の7.5%だ。



中村 眞一議員

長期事業計画予算の一部を、各地区の独自裁量財源に。現時点ですぐには難しいが、検討を続けていきたい。



田中 信寿議員

ワインと市内観光地を結び付ける取り組みはどうか。観光協会と販売力の向上に重点を置き取り組み



山浦 利通議員

罰則・罰金を伴う条例について適用はどうか。地方自治法の規定に基づき適用する



本年9月開業したメルシャン椀子ワイナリー

御堂再開発の非農用地の観光活用はどうか。産業経済部長 策定済みの活用構想を具現化するため、本年10月「御堂地域活用構想推進協議会(仮称)」を設立する。

地域防災への取り組み。再編となった消防団の成果と課題は何か。総務部長 新規に管轄の区から10名ほどの新入団員の加入があった。課題はそれらの区との連携だ。ハザードマップの見直しはどうか。総務部長 県の調査結果により見直す。地域の危険個所の把握には「地区防災マップ」の作成に取り組む。



認知症予防・らくらく体操

総務部長 罰則の範囲は、地方自治法により他の罰則との均衡を考慮に入れ定められており、上限のない定め方はできない。個別の事案による法律改正とは違い、慎重な議論が必要である。

認知症について。認知症の予防・早期発見・早期治療開始の取り組みはどうか。健康福祉部長 定期的に、介護予防教室・脳いきいき教室などを開催し予防の実践と啓発を行い、医師、作業療法士等から成る認知症初期集中支援チームを結成。また、地域支援推進員による専門相談・講演会を開催、認知症サポーター養成講座により人材育成も含め、早期発見と正しい認識を促す取り組みを進めている。アルツハイマー病の早期発見方法としてペーターアミロイドPET検査もあるが、費用的な面、受診施設・保険の適用など、多くの課題がある。



リニューアルした読書手帳

問 流行が止まらずに問題となつている風疹予防接種の取り組みはどうか。

答 業について 予防疫接種業について 流行が止まらずに問題となつている風疹予防接種の取り組みはどうか。

問 学校教育における読書活動の取り組みは。 教育次長 親子文庫や学校司書、教職員による読み聞かせ、また子どもたちが学校図書館に足を運んでもらえるような工夫をしている。

問 読書意欲を高めるための取り組みについて 読書意欲を高めるため、借りた本の履歴が残せる、読書通帳システムの導入はできないか。 教育次長 自分が読んだ本を記入する読書手帳は導入しており、昨年度リニューアルしたところである。

問 災害時に家族を含めた自分の行動を決めておくマイラインの作成が必要だと思ふがどうか。 総務部長 まずは、地区防災マップの作成に市内全域

問 取得組んでいく。 災害時の備蓄品として、食料と水を約6千食、市内の各所に備えてあるとの事だが、災害時に利用しやすい液体ミルクの備蓄はできないか。 総務部長 飲料水を必要としないことから有用であると考え、経常予算の中で検討していく。

問 健康福祉部長 今年度は、40歳から47歳の方に対して無料で抗体検査と予防接種を受けるための受診券を発送した。 健康福祉部長 今年度は、40歳から47歳の方に対して無料で抗体検査と予防接種を受けるための受診券を発送した。



高木 真由美議員

問 地区防災計画の取り組みの現状はどうか 答 地区防災マップの作成を促していく



北御牧保育園の運動会

問 幼児教育・保育の無償化の概要説明を求める。 健康福祉部長 10月1日から無償化の対象になるのは3歳児クラスから5歳児クラスの子どもと、市民税非課税世帯の0歳児クラスから2歳児クラスの子どもの保育料が無償化される。 健康福祉部長 無償化による保育料等の減収分について、国の財源措置はどうか。 健康福祉部長 無償化による保育料等の減収分について、国の財源措置はどうか。 副食費について市の対応はどうか。 健康福祉部長 副食費は、国の基準の月額4500円とし、現在の保育料と同じ徴収方法をとる。国基準により年収360万円未満世帯の子どもと第3子以降の子どもの副食費については免除となる。東御市では多子世帯等の経済的負担軽減を目的に、副食費について子どもの年齢にかかわらず、第2子を半額、第3子以降を無料とする独自軽減事業を実施する。

問 健康福祉部長 9月現在で3歳児クラス以上の保育園児と幼稚園等に通う子ども703人、市民税非課税世帯の3歳未満児21人が対象となる。 健康福祉部長 9月現在で3歳児クラス以上の保育園児と幼稚園等に通う子ども703人、市民税非課税世帯の3歳未満児21人が対象となる。

問 国の補助分が増える。市の新たな財政負担は発生しない見込みだ。第3子無償化など独自軽減策に取り組んできた東御市にとって、国財源が入ることによる恩恵は少なくない。 健康福祉部長 副食費は、国の基準の月額4500円とし、現在の保育料と同じ徴収方法をとる。国基準により年収360万円未満世帯の子どもと第3子以降の子どもの副食費については免除となる。東御市では多子世帯等の経済的負担軽減を目的に、副食費について子どもの年齢にかかわらず、第2子を半額、第3子以降を無料とする独自軽減事業を実施する。



窪田 俊介議員

問 市独自の第2子半額の軽減事業を実施する 答 市独自の第2子半額の軽減事業を実施する



高森 公武議員

問 海野宿の環境整備はどうか 答 指定管理者に委託している



海野宿第一駐車場の土手(9月末現在)

問 市民プールについて プールにウォーター 슬라이ダーをつけて欲しい」という声があるがどうか。 市長 専門家、体育指導、市民代表で検討会の結果、老朽化や着水プールの水深が安全基準に適合していない点、多額の改修費と維持費がかかるので廃止した。

問 市内には若者の望む遊び場所がないが、どう考えているのか。 市長 東御の子供達は自然の良さや自然の遊びに、いやされる体験を通して、無いものは無いが、有るものは、有るといふアイデンティティを持つていただく心のふるさとづくりが、重要と考える。

問 うんのわが近く閉店すると聞こえてきたがどうか。 産業経済部長 現在も縮小して営業している。今後の運営が困難だと相談もいただいている。令和5年度まで委託しており、営業の再開を要請している。喫茶及びトイレは、利用できる。

問 目標達成へ企業訪問する。来年度寄附金制度見直しの話もあり次年度に先送りする企業もあり、下半期の寄附動向に憂慮している。 問 具体的な状況の説明を求める。 市長 億単位の企業が数社あるが、来年度以降に寄附金控除率が9割になりそうだとということ。 市長 寄附金には不確実性があり、期限を待つてほしいとなる。 市長 一般市税の投入はないという責任、年度内に集めきることにしている。 命努力している。

Table with 4 columns: 寄附金合計, 企業版, 個人版※, 一般寄附. Rows: 予算, 8月末, 予算達成率.

※個人版は湯の丸充当額

問 湯の丸寄附金7億5千万円を集め切れるのか 答 努力するが、相手があつてのことだ

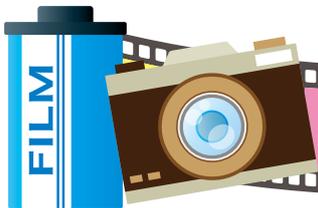
問 「年度内に集めきる」約束は果たせるのか 答 市長はこれまで「集めきる」としてきた。3月議会で改めていただいたところ「私の任期中に集めきるのが責任だと思つている。最終年度であり満額集めきることで責任を果たしていきたい」と答えた。年度内とは来年度の3月31日だ。市長は市民に対する約束を果たす責任がある。確認したい。

問 市長はこれまで「集めきる」としてきた。3月議会でも改めていただいたところ「私の任期中に集めきるのが責任だと思つている。最終年度であり満額集めきることで責任を果たしていきたい」と答えた。年度内とは来年度の3月31日だ。市長は市民に対する約束を果たす責任がある。確認したい。



平林 千秋議員

問 湯の丸寄附金7億5千万円を集め切れるのか 答 努力するが、相手があつてのことだ



若者フォーカス

東御市消防団
音楽隊

笠井昌鷹さん
(ホルン)
湯本優子さん
(フルート)

長岡久美子さん
(パーカッション)
小林美樹さん
(トランペット)

第14回 東御市消防団音楽隊定期演奏会 【東御市サンテラスホール】

11月24日(日) 開場13:30 開演14:00

音楽で地域をつなぐ

左から小林さん、湯本さん、長岡さん、笠井さん



11月24日(日)に第14回定期演奏会をひかえた東御市消防団音楽隊—隊員の笠井昌鷹さん、長岡久美子さん、湯本優子さん、小林美樹さんを取材しました。

消防団音楽隊を活動で楽しんでいるのか?

笠井さん 消防出初め式や少年野球、定期演奏会など各種イベントで演奏して、防火防災の啓発をしています。

入団のきっかけは?

湯本さん 吹奏楽の経験があり、演奏をしたいなと考えていました。職場の消防団員の紹介がきっかけです。
小林さん ずっとトランペットを吹きたくて、先輩に誘われたのがきっかけです。

仕事や家庭と両立させるのは大変じゃないですか?

笠井さん 週1回、夜の練習に、育児をできるだけ手伝ってからです。
長岡さん 家族の理解を、当たり前と思わずに感謝を伝えたいですね。

音楽隊の活動はどうですか?

湯本さん やはり一人だ

けでは味わえない、みんなで作る感動があります。

長岡さん 定期演奏会に何度か来てくださる方や、声を掛けてくださる方もいて、地域の繋がりが広がります。

消防団組織の音楽隊で活動するの、何が面白いですか?

小林さん 地元で女性消防団員としても活動しています。ポンプ操法も教えてもらっています。

長岡さん 災害時にできる事は何だろうかと考えたりします。日常生活が送れない避難所で、衛生管理とか女性が普段やっている事で避難所運営に携われるのではないかと...

定期演奏会へ向けたいひと言どうぞ。

小林さん このご時世に、音楽で何を発信していくべきなのか考えて演奏フ



明日の東御市を拓く市議会◆あなたも参加しませんか...

議会傍聴へようこそ

令和元年12月定例会における一般質問は

12月11日~12日に予定されています。

あとがき

9月議会は「決算議会」といわれます。前年度の市の仕事ぶりを点検し、予算が計画どおりに執行されているか、市民から見ると課題は何かを審査します。

本会議で全体の意見を出し、総務産業、社会文教の2委員会でも5日間わたって、担当者の説明を聞き、問題点を議論し合います。どんな議論が交わされたのか。今号では主な内容を5ページにわたって特集しました。

決算審査の結果を、付帯意見として市に提出し、次の予算に反映するように求めています。市民の意見が市政に具体化し、市民の暮らしが向上するよう議会改革・活性化をすすめていきます。

平林 千秋

広報委員

- 山浦 利通
- 窪田 俊介
- 田中 信寿
- 高木 真由美
- 中村 眞一
- 平林 千秋
- 依田 政雄
- 阿部 貴代枝
- 横山 好範

市議会だよりについて、ご意見・ご感想をお寄せください。

【発行・お問い合わせ】

東御市議会・事務局

〒389-0592 長野県東御市東281-2

TEL.0268-64-5810

FAX.0268-62-5040

訂正とお詫び...議会だより第62号(8月1日発行)に掲載した内容に誤りがありました。次のように訂正してお詫び申し上げます。

7頁 行政視察報告 下段(誤)三好町(正)三芳町



再生紙を使用しています。植物油インキを使用しています。



【東御市議会広報紙】 第63号 ◆発行/東御市議会 ◆発行責任者/東御市議会議長 横山 好範 ◆発行日/令和元年11月1日 ◆編集/東御市議会広報調査特別委員会 印刷/中沢印刷株式会社

この広報は議員の自主編集で発行しています。